

## 町田市議会議員

## 吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2127

会派が解散、単独活動

## フットボールの支援と経済効果

町田市は、スポーツ推進条例のホームタウン規定によって、プロスポーツ（サッカーチーム）の支援を行っています。金銭的には直接の支援は行っていませんが、この間の陸上競技場に大きな手を加えたサッカー場化による施設整備の投資状況は明らかにその支援に相当するものです。この陸上競技場の施設内容をみると、メディアセンターの設置問題を含めて、Jリーグが求めた会場施設そのものと言えます。さらに、その練習場所の優先利用の便宜も加えれば、これはプロサッカーチームの特別支援措置以外の何物でもないことがわかります。

行政はその支援の根拠に、プロサッカーチームの存在による「経済効果」をうたってきました。それは「J2」昇格、さらには「J1」昇格を夢想した来訪者数の増大や消費などの効果測定数値でしたが、「JFL」への降格・定着によって、経済効果の話はまたもや無くなったに等しくなりました。ここに来て、「Jリーグ」が新たに「J3」の創設を提起しました。しかし、これによって、サッカーチームの経営状況や選手の待遇改善がなされる見込みはほとんどないものと思います。こうした視点から冷静に見れば、プロサッカーチームの地元存在によって、町田市の経済に貢献する見通しは夢物語になってきました。それは、プロサッカーの世界にあっては、「J1」クラスの上位チーム以外では、観戦者の存在が街の繁栄をもたらす考えは単に幻想と言えるためです。私は、スポーツは「経済効果」で云々するのではなく、その存在自体を必要と皆が意識できるような対象として求めることが自然だと思えます。

## 組合議事を欠席し続ける市長

石阪市長が組合議会（多摩市・八王子市・町田市で構成）の本会議にたびたび欠席していることを、9月の市議会定例会で指摘し、見解を問いました。市長は副管理者であり、代理は議員と同様にできません。答弁した企画政策部長は市内団体との懇談会に出席（これは代理出席が可能！）していたからと答えましたが、私の再質問に市長は「議会は大切」と出席の重要性を表明していたものです。

しかしながら、またもや11月の組合議会の本会議（決算の認定）を市長は欠席しました。しかも、12月開催の町田市議会第4回定例会の質問通告締め切り日まで何の説明もなく、欠席の反省も見えないので、今議会（第4定例会）では、「次の議会もまた欠席ですか」と質問しました。市長は答弁に立たず、政策経営部長が「出席の予定です」と答えました。さすがに、議員席の複数議員から、「そんなことぐらい自分で答えろ」との市長批判の声が上がりました。市長へのスタンスは別として、この発言は議員として当たり前の思いからでしょう。私はこのやり取りを通じて、石阪市長がまた次の組合議会の会議を欠席する際の逃げ道を用意したとしか考えようがありません。



一般質問の開催期間中、同室の大西宣也議員、新井克尚議員、吉田と私の研修生（32・33期）

## ★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ（市議会議員）

## 町田市議会議員

## 吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



インタビュー生募集中

携帯QRコード  
でブログ閲覧

## 研修生レポート ② 浅野 遼

ある自動車メーカーの技術者との面談はとも勉強になりました。もともと工学部の研修生のために吉田議員がセッティングしてくださり、生命科学部の私は分野違いでしたが、それでも何か為になるのではという事で同行させていただきました。主に就活について話していただき、その中で驚いた事は小学校の時からやりたい事があり、そのために何をやるべきかを考えて行動していたという点です。その事が、早めの技術の習得、次いで納得の行く就職へつながったと話しておりました。ここ数十年で出てきた生命科学部という学部に進んだためか、私は将来のビジョンが確立している人を大学で見た事がありません。しかし、やはり「企業がどのような人材を欲しがるか」という事を考えて行動すべきでしょう。さらに、ストレス耐性、発想力、積極性についても具体例を挙げて必要性を説いていただきました。大学院に進学する私にとって就活は数年先の話ですが、もう考え始めた方が良く感じました。

(第 33 期生 東京薬科大学 3 年 浅野 遼)

## 研修生レポート ① 古田 知之

インターンシップの中で、ある自動車メーカーの方のお話を伺いました。私は現在工業系の大学に通っているので、実際に働いている方の声を聞く良い機会となりました。

メーカーの方は小学生の頃から車関係の仕事に就きたいと思っていたようで、それに向けて材料力学や機械力学を学び、アルバイトもガソリンスタンドや車の整備士等を経験し、将来を見据えた学生生活を送っていたそうです。普通、夢を実現させたいときは、自

分で短い期間で達成し得る小さな目標を設定し、計画を立てて毎日せっせと取り組みます。そのやり方は決して間違っていないかもしれませんが、自分の思い描くゴールから逆算して、現時点で自分に足りないものを把握し、日々取り組んだほうがモチベーションも上がるでしょうし合理的です。私は将来したい仕事明確とは言えないので、自己分析・企業研究をさらに行い、自分に向けた仕事を見つけようと感じました。

また、実際に仕事に就いたとき、仕事の負荷や人間関係でのストレスに耐えられることができる人が結果を出し、長く続けられるとのことです。

今回のインターンシップで一番印象に残った言葉があります。それは「就活は就活生が企業を選んでいるのではなく、企業が就活生を選んでいる」という言葉です。優秀な学生である程早い段階から企業から声がかかり、企業間での取り合いが行われるそうです。そういった学生は知識量が豊富であったり積極性があったり何か秀でたものがあります。今回メーカーの方のお話を聞いて自分の未熟さを痛感しました。日々の努力を怠らず、私も求められるような人材になりたいと強く感じました。



(第 33 期生 芝浦工業大学 3 年 古田 知之)

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : [yoshidaben@gmail.com](mailto:yoshidaben@gmail.com) mobile: [yoshidaben@docomo.ne.jp](mailto:yoshidaben@docomo.ne.jp)